

令和元(2019)年度 病害虫発生予報 第4号

令和元(2019)年7月19日
栃木県農業環境指導センター

日照不足による病害の発生が懸念されます！ 気温上昇による害虫の増加に注意しましょう！

予想期間 7月下旬～8月下旬 予報の根拠で、(+)は増加要因、(-)は減少要因を表す。

1 水稻 いもち病

- (1) 発生予想 ・発生量：**やや多い**
- (2) 根 拠 ・現在の発生量は**やや多い**（平年比 216%：ほ場率、平年比 78%：株率）（+）
・向こう1か月の気温は低く、降水量は多い～平年並、日照時間は少ない見込み。（+）
- (3) 対 策 ・発生が見られた場合には、早急にブラシフロアブル等の予防・治療効果のある薬剤を散布する。
- (4) 備 考 ・[植物防疫ニュース\(速報No.5\)](#)、[BLASTAM\(いもち病発生時期予測システム\)](#)の情報、[薬剤感受性検定結果](#)を当センターホームページ（HP）に掲載中。

2 水稻 斑点米カメムシ類

- (1) 発生予想 ・発生量：**平年並**
- (2) 根 拠 ・7月中旬の雑草地におけるすくい取り調査での発生量は平年並（平年比 60%：成幼虫数）（±）
・向こう1か月の気温は低い見込み。（-）
- (3) 対 策 ・穂ぞろい期に斑点米カメムシ類が水田内で見られる場合は、乳熟初期（出穂期7～10日後）までにMR. ジョーカーEW、スタークル液剤10、スタークルメイト液剤10等を散布する。
・防除後も斑点米カメムシ類が見られる場合は、7～10日間隔で1～2回の追加散布を行う。
- (4) 備 考 ・[植物防疫ニュース\(速報No.4\)](#)を当センターHPに掲載中。

3 水稻 稲こうじ病

- (1) 発生予想 ・発生量：**やや多い**
- (2) 根 拠 ・水稻の穂ばらみ期以降、低温、日照不足、多雨が続いており、今後も同様の気象経過になる見込み。（+）
・向こう1か月の降水量は多い～平年並、日照時間は少ない見込み。（+）
- (3) 対 策 ・銅剤（出穂期21～10日前に散布）やモンガリット粒剤（出穂期21～14日前に散布）等により、適期に防除を行う。この期間以外の散布は効果が落ちるため注意する。
・土壌中の菌密度が高いと発生しやすくなるため、前年度や前々年度に発生が多かった場合は特に注意する。
- (4) 備 考 ・[病害虫防除対策のポイントNo.20\(イネ稲こうじ病\)](#)を当センターHPに掲載中。

4 大豆 吸実性カメムシ類

- (1) 発生予想 ・発生量：**やや多い**
- (2) 根 拠 ・7月第1半旬までのフェロモントラップへの誘殺数は**やや多い**。（+）
・向こう1か月の気温は低い見込み。（-）
- (3) 対 策 ・開花期の15日後から子実肥大後期（9月下旬）までにトレボン乳剤、スミチオン乳剤等を10～14日間隔で散布する。カメムシ類の発生が多い場合は、散布間隔を短く回数を多くする。

5 いちご ハダニ類

- (1) 発生予想 ・発生量：**やや少ない**
- (2) 根 拠 ・現在の発生量は**やや少ない**（平年比 44%：ほ場率、平年比 39%：株率）。（-）
・向こう1か月の気温は低い見込み。（-）

- (3) 対策 ・ 苗による本ぼへの持ち込みを防ぐため、育苗での防除を徹底する。
 ・ 育苗期は気門封鎖剤を活用し、本ぼ定植後に使用可能な有効薬剤を温存する。
- (4) 備考 ・ [薬剤感受性検定結果](#)を当センターHPに掲載中。

6 大豆・野菜類共通・花き類 ハスモンヨトウ

- (1) 発生予想 ・ 発生時期：平年並 ・ 発生量：平年並
- (2) 根拠 ・ 7月第1半旬のフェロモントラップへの成虫の誘殺数は平年並、発生時期が平年並。(±)
 ・ 向こう1か月の気温は低い見込み。(－)
- (3) 対策 ・ 施設開口部に防虫ネット等を張り、侵入を防ぐ。
 ・ 早期発見に努め、卵塊や分散前の幼虫を寄生葉とともに摘み取り処分する。
 ・ 幼虫の齢期が進むと薬剤が効きにくくなるので、発生初期に薬剤を散布する。

7 果樹類 カメムシ類

- (1) 発生予想 ・ 発生量：やや多い
- (2) 根拠 ・ 7月第1半旬のフェロモントラップへの誘殺数はやや多い。(＋)
 ・ 向こう1か月の気温は低い見込み。(－)
- (3) 対策 ・ 多目的防災網を展張する。展張に併せて網内に害虫が残らないように防除する。
 ・ 袋掛けは早めに行う。
 ・ 夜温が下がらない蒸し暑い日の日没時に飛来が多い。こまめに園内を観察し、飛来が認められたら防除する。
- (4) 備考 ・ 山林に隣接するほ場や、過去に多発したほ場では特に注意する。
 ・ [植物防疫ニュース \(No. 3\)](#)を当センターHPに掲載中。

8 その他の病害虫

作物名	病害虫名	現況	発生予想	作物名	病害虫名	現況	発生予想
水稻	縞葉枯病	平年並	平年並	ねぎ	べと病	多	多
いちご	炭疽病	少ない	やや少	なし	黒星病	平年並	平年並
トマト	黄化葉巻病	やや多	やや多	きく	ハダ二類	やや少	平年並
きゅうり	べと病	多	やや多				

〇うめ・もも・すもも・さくら クビアカツヤカミキリ (特定外来生物)

- ・ 成虫や、幼虫が出すフラス (木くず) を発見したら農業環境指導センターまで御連絡ください。
- ・ [クビアカツヤカミキリ注意喚起チラシ](#)、[植物防疫ニュース \(No. 2\)](#)を当センターホームページに掲載中。

〇ほ場内外の除草は害虫防除の基本です！

- ・ 水田畦畔の雑草や水田内のイネ科雑草、イヌホタルイ等も斑点米カメムシ類の誘引源となります。
- ・ 野菜類や花き類でも、ほ場内外の雑草はハダ二類やアザミウマ類、アブラムシ類の発生源となります。

〇6月から8月は「農業危害防止運動期間」です。農業は適正に管理し、容器のラベルをよく読み、正しく使いましょう。

1か月気象予報 (予報期間7月20日から8月19日 7月18日気象庁発表)

期間のはじめは、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。その後は、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。向こう1か月の平均気温は低い確率40%です。降水量は、平年並または多い確率ともに40%です。日照時間は、少ない確率50%です。

向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率 (%)

項目	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
気温	40%	30%	30%
降水量	20%	40%	40%
日照時間	50%	30%	20%

詳しくは農業環境指導センター (Tel 028-626-3086) までお問合せください。

病害虫情報発表のお知らせはツイッター「[栃木県農政部 \(@tochigi_nousei\)](#)」、農業環境指導センターホームページ (<http://www.jppn.ne.jp/tochigi/index.html>) でもご覧になれます。